

セミナー「世界の木材需給と中国の動向」及び
「市場規模 97%ダウンおける商品開発と販路の開拓」実施報告

日本木材輸出振興協議会と NPO 法人活木活木（いきいき）森ネットワークとの共催によるセミナーが、平成 21 年 12 月 15 日（14:00～16:30）に文京区の林友ビル大会議室で 75 名の参加を得て開催されました。

最初の講師の立花敏氏は、（独）森林総合研究所北海道支所北方林経営担当チーム長で世界の木材需給、貿易、価格及び林業・木材産業等に大変御造詣の深い方です。

当日は、「世界の木材需給と中国の動向」というテーマで御講演いただきました。講演の内容は、①世界の林産物需給の現状、②SOFO2009 等に基づく世界の林産物需給の見通しと森林資源の態様、③中国の森林資源と木材利用の動向、④ロシアとカナダの林産物生産・貿易の動向等が具体的な数字を示して説明されました。また、最後に①中国の林産物市場には更なる拡大が見込まれ、建築基準法改正により世界からの注目が高まっていること、②中国ではカナダやニュージーランドからの林産物輸入の増える傾向が続くと見込まれること、③日本からの輸出は中国でのマーケティング、広報を含め 10 年、20 年先を見据えた取り組みが不可欠と考えられることの取りまとめがされました。

二番目の講師の徳田浩氏は、奈良県吉野の黒滝村の(株)徳田銘木の代表取締役で森林育成から磨き丸太の技術を活かしたデザイン性の優れた自然木、天然木の加工生産まで幅広く手がけておられる方です。

当日は、「市場規模 97%ダウンおける商品開発と販路の開拓」というテーマで御講演いただきました。講演の内容は、主力商品である床柱の市場が 20 年前の 97%ダウンする中で、これまで利用されていなかった資源を活用した商品開発と販路の開拓への会社の取り組みについてビジュアルに紹介するものでした。具体的には①自社の事例集“FABLES III”に沿って間伐材、枝及び曲がり材等を活用した床柱、手すり、カウンター及び框等デザイン性豊かな製品及びその製造を可能とする技術・機械の紹介②経営会議資料に沿った販路と商品のマトリックスによる経営戦略の検討、(既往の)販売ルート維持・拡大と展示会の積極的活用③内外でのデザイン性に対する高い評価④へり集材を含む原木確保のノウハウ等吉野の自然豊かな山村で最先端のビジネスへの取り組みが紹介されました。

時間の制約はありましたが盛会の内にセミナーを終了することができました。

当日は、マスコミ及び商社等関係業界など多くの方々に御参加いただきました。

講演者、参加者をはじめ、関係者の方々に感謝申し上げます。